

1日コース		5日コース		7日コース（看護師）			
講義をメインとするプログラム 対象：いずれ再就業したいと考えている方		模型を使用した手技演習をメインとするプログラム 対象：再就業に向けて少しずつ準備したいと考えている方		病棟における実習をメインとするプログラム 対象：すぐにでも再就業したいと考えている方			
研修内容及び指導方法							
1 日目	A	オリエンテーション・交流会		A	オリエンテーション・交流会 1時間		
	M	ナースバンク関係書類の記入・病院見学		M	ナースバンク関係書類の記入 1時間・病院見学		
	P	講義：最近の医療・看護の動向・医療安全など		P	講義：最近の医療・看護の動向		
	M	再就業支援相談		M	講義：看護の安全性・感染管理		
演習及び病棟での実習							
内 容		方 法		内 容		方 法	
2 日目	A	1. 看護観察 1)バイタルサインの測定 2. 採血 1)基礎知識 ・血管の解剖 ・選択される静脈の解剖 (2)真空管採血法・肘正中皮静脈からの採血 3. 薬の知識 ・処方箋や薬剤の確認方法、間違いやすい要因の説明	1. 講義・DVD視聴 2. 演習 1)体制 研修生4人に対し1人の看護師が指導につく 2)準備 ・パソコン・DVD ・血圧計、ステート、パルスオキシメーター ・モデル（静脈・採血・筋肉注射等） ・輸液ポンプ、シリンジポンプ ・車いす、ストレッチャー、ベッド ・椅子、机 ・その他、それぞれの技術項目に必要な物品	2 日目	A	1. 看護観察 1)バイタルサインの測定 2. 採血 1)基礎知識 (1)血管の解剖 ・選択される静脈の解剖 (2)真空管採血法・肘正中皮静脈からの採血 3. 薬の知識 ・処方箋や薬剤の確認方法、間違いやすい要因の説明	1. 講義・DVD視聴 2. 演習 1)体制 研修生4人に対し1人の看護師が指導につく 2)準備 ・パソコン・DVD ・血圧計、ステート、パルスオキシメーター ・モデル（静脈・採血・筋肉注射等） ・輸液ポンプ、シリンジポンプ ・車いす、ストレッチャー、ベッド ・椅子、机 ・その他、それぞれの技術項目に必要な物品
	M	4. 注射法（輸液・静脈注射・筋肉・皮下） 1)基礎知識 ・注射法の種類と特徴 2)静脈注射法と点滴静脈注射法 ・血管の選択と注意点 ・駆血帯の扱い方 ・刺入角度・針とルート固定 ・滴下合わせ・輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い等 3)筋肉注射、皮下注射 ・注射部位の確認と注意点 ・刺入角度 4)誤薬防止マニュアルに沿った準備と実施等	3)デモンストレーション ・グループ毎もしくは全体で準備から終了まで演示 4)所要時間 ・一人20分から40分。 一つの項目全体で2時間程度 5)自己練習 ・繰り返し練習する時間を設ける ・質問をうける、実践指導等		M	4. 注射法（輸液・静脈注射・筋肉・皮下） 1)基礎知識 ・注射法の種類と特徴 2)静脈注射法と点滴静脈注射法 ・血管の選択と注意点 ・駆血帯の扱い方 ・刺入角度・針とルート固定 ・滴下合わせ・輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い等 3)筋肉注射、皮下注射 ・注射部位の確認と注意点 ・刺入角度 4)誤薬防止マニュアルに沿った準備と実施等	3)デモンストレーション ・グループ毎もしくは全体で準備から終了まで演示 4)所要時間 ・一人20分から40分。 一つの項目全体で2時間程度 5)自己練習 ・繰り返し練習する時間を設ける ・質問をうける、実践指導等
3 日目	A	5. 患者の移動と移送 <右半身麻痺のある患者> 1) 体位変換 ・上方移動、水平移動、仰臥位→側臥位、安楽な体位の工夫 2) 移乗 ・仰臥位→端座位→車椅子（車椅子の操作） 3) ストレッチャーへの移動 ・仰臥位→ストレッチャー 4) 移送 ・車椅子での移送		3 日目	A	5. 患者の移動と移送 <右半身麻痺のある患者> 1) 体位変換 ・上方移動、水平移動、仰臥位→側臥位、安楽な体位の工夫 2) 移乗 ・仰臥位→端座位→車椅子（車椅子の操作） 3) ストレッチャーへの移動 ・仰臥位→ストレッチャー 4) 移送 ・車椅子での移送	
	M	病棟実習 1. 病棟オリエンテーション 1) 病棟の概要、特徴 2) スタッフ紹介 3) 患者紹介 2. 援助の実践 1) 環境整備（リネン交換） 2) バイタルサイン測定 3) 体位交換 4) 移乗・移送 5) 清潔ケアの援助（口腔ケア、清拭等） 6) 食事の介助 7) 排泄の介助	(原則) 研修生1人に対し1人の看護師が指導に当たる 1. 病棟長もしくは研修担当がオリエンテーションをおこなう 2. 看護師に付いて一緒に援助を行う * 援助の際は必ず患者さまに了承を得る * 病棟で実習する場合は保険に入っていることを原則とする * 援助は病院所属の看護師の指導の下で行ない、原則責任は病院が負う。		M	病棟実習 1. 病棟オリエンテーション 1) 病棟の概要、特徴 2) スタッフ紹介 3) 患者紹介 2. 援助の実践 1) 環境整備（リネン交換） 2) バイタルサイン測定 3) 体位交換 4) 移乗・移送 5) 清潔ケアの援助（口腔ケア、清拭等） 6) 食事の介助 7) 排泄の介助	
4 日目	A			4 日目	A		
	M				M		
5 日目	A			5 日目	A		
	PM				PM		
		交 流 会				交 流 会	
		再 就 業 支 援 相 談				再 就 業 支 援 相 談	
				6 日目			
				7 日目			
				A			
				M			
				P			
				M			
						交 流 会	
						再 就 業 支 援 相 談	